

## 切り花パンジー栽培における定植鉢サイズの検討

田旗裕也・吉岡孝行

(江戸川分場)

---

【要約】切り花パンジーの鉢栽培では、播種翌年2月までの摘花数と収穫本数に対する定植鉢サイズの影響は小さい。3月の株あたり収穫本数は5寸鉢で減少し、6寸鉢以上で約15本が収穫可能であり、7寸鉢栽培では切り花長30cm以上の本数が増加する。

---

### 【目的】

高性種を利用したパンジーの切り花栽培では慣行的に6寸鉢が用いられるが、鉢サイズが摘花量と時期別収穫本数並びに3月中旬の切り花生育におよぼす影響を明らかにする。

### 【方法】

高性パンジー「イエロークイーン」交雑後代(花色はばらつくが高性形質が安定している)を供試した。2016年8月12日に288穴セルトレイへ播種し9月10日に10.5cmポットへ仮植後、11月26日に所定の容量を充填したプラ製鉢に定植した。定植鉢は7寸(土量3.2)、6寸(1.6)、5寸(0.8L)の3区とした。用土は全区ともポット・鉢用土とも江戸川分場慣行で、基肥はマグアンプK(6-40-6)3g/Lと微量要素入り被覆燐硝安加里(12-8-10マイクロロングトータル280-70日タイプ)2g/Lを使用した。定植後の追肥は翌年1月10日と3月10日にプロミック錠剤肥料中粒(12-12-12)3粒/株(=4.5g)を用い、葉色を判断基準にハイポネックス液肥(20-20-20)をN-200ppmを灌水がわりに適宜施用した。栽培は最低3℃加温設定のハウス内ベンチ上で実施し、鉢広げは株が重ならない程度で適宜行い、伸張した茎葉は行灯骨格内に収めた。2017年2月23日までは切花長20cmを目安として伸張した側枝を基部1節残しで収穫した。卒業式シーズンを控えた3月16日に、10cm以上の長さが確保できる全ての収穫物(茎葉枝)の生育調査を行った。

### 【成果の概要】

1. 本試験の開花は2016年11月に始まったため、摘花作業は12月から行ったが、年内の摘花数は全鉢サイズとも約20花/株だった。以降3月までの摘花数に対する定植鉢サイズの影響は認められず、各区とも翌年2月1日までの累積で約30花、3月までに50花を摘花した。摘花した茎葉のない花は、十分な花梗長が得られれば1本でも商品性を有するが、摘花作業は草勢維持と品質向上を目的に行われ、労力が費やされる(図1)。
2. 切り花長20cmを収穫規格とした場合、年内には株あたり平均1.5本が収穫できた。定植鉢サイズが収穫本数に及ぼす影響は3月まで認められなかった。年内および3月までの開花は、主茎開花が優先されたことが推察される(図2)。
3. 3月16日の収穫本数は、6寸基準で7寸が114%、5寸が70%だった。定植鉢サイズが切り花の茎長(主茎・側枝の茎長)、節数(側枝節数)、葉色(SPAD値)におよぼす影響はなく、7寸鉢栽培は花径が大きく花梗が長かった(表1)。
4. 3月16日の収穫物は、6寸(慣行)より7寸鉢で長い切り花が多く得られた(図3)。

【残された課題・成果の活用・留意点】 特になし

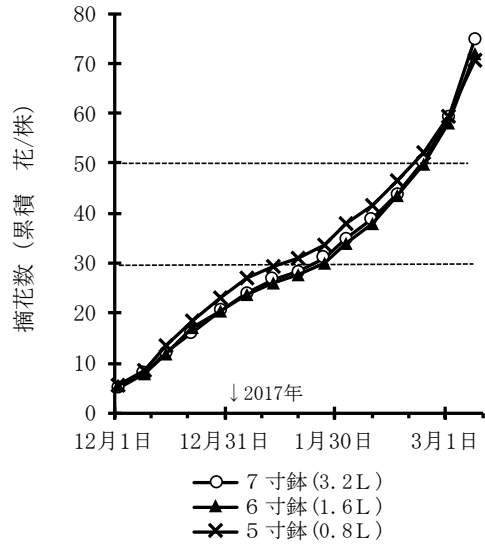


図1 切り花パンジー定植鉢サイズと時期別の適花数（累積）  
(n=30)

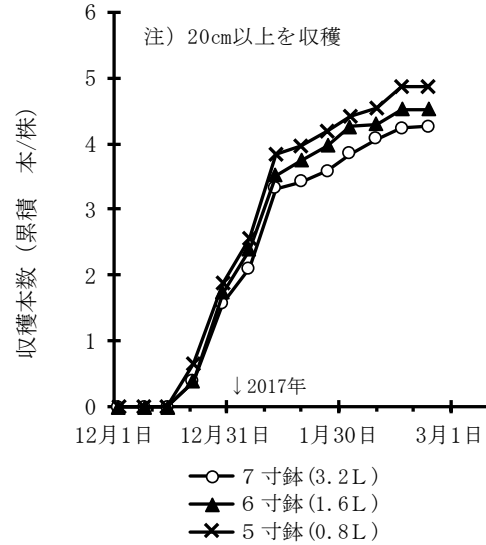


図2 切り花パンジー定植鉢サイズと時期別の収穫本数（累積）

表1 切り花パンジー定植鉢サイズと3月中旬の収穫物生育

試験区	定植鉢 土量(L)	収穫本数 (本/株)	切花長 (cm)	主茎・側枝		花数 (花/本)	着色蕾数 (個/本)	花径 (cm)	花梗長 (cm)	葉色 (SPAD値)							
				2/23~3/16	(cm)						茎長(cm)	節数(節)					
7寸	3.2	16.4	a	114	26.1	a	19.1	7.3	0.80	a	1.03	a	5.8	a	11.0	a	44.7
6寸 (慣行)	1.6	14.4	b	(100)	24.9	ab	18.4	7.5	0.77	b	0.95	ab	5.6	b	10.1	b	43.1
5寸	0.8	10.1	c	70	23.8	b	17.9	7.9	0.69	c	0.92	b	5.1	c	9.5	b	43.9

注) 2017年3月16日調査。前年8月12日播種，11月26日定植。定植鉢はプラスチック製白色を使用。前回収穫日（2月23日）に切り花長10cm以上で収穫。SPAD値はSPAD502（コニカミノルタ製）の指値。表中の項目ごと異英小文字間には，Tukey-kramer法により $\alpha=0.99$ で有意差が認められ，付記のない定植鉢間には有意差がないことを示す。

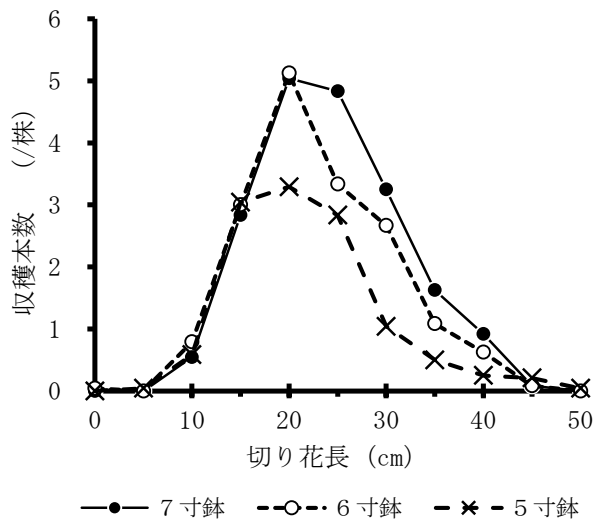


図3 切り花パンジーにおける定植鉢サイズが切り花長別収穫本数に及ぼす影響  
(2017年3月16日調査)